

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	紙谷 鈴代				
配当	人社4			コード	80510
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	論文としての質を高める努力				
目的と概要	卒業論文を、書くためには、関心のある分野の可能なかぎりの資料集め、その調査、分析の過程から、テーマの決定(早くから決めている場合も勿論多い)、さらにテーマに関連する資料を検討し、関連の論文にあたりするたいへんな時間と忍耐力を要します。なるべく3回生のうちから少しずつ準備を始めておくことが望ましいでしょう。				
成績評価法	平常点(50%)、積極性(50%)				
テキスト	プリント				
参考書					
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論文を書く上での心構え</li> <li>2. テーマと資料</li> <li>3. テーマと考え方</li> <li>4. 研究計画書提出</li> <li>5. グループでの発表</li> <li>6. 検討会</li> <li>7. 弱点補強</li> <li>8. 弱点補強</li> <li>9. 参考文献</li> <li>10. 参考文献</li> <li>11. 資料の整理</li> <li>12. 資料の整理</li> <li>13. 章ごとのまとめ</li> <li>14. 章間のつながり</li> <li>15. 部分発表</li> <li>16. 部分発表</li> <li>17. 検討会</li> <li>18. 質的向上をはかる</li> <li>19. 資料の追加収集</li> <li>20. 資料の追加収集</li> <li>21. まとめ</li> <li>22. まとめ</li> <li>23. 検討会</li> <li>24. 検討会</li> <li>25. 弱点補強</li> <li>26. 弱点補強</li> <li>27. 仕上げ</li> <li>28. 論文としての質</li> <li>29. 資料の有効性</li> <li>30. 論文の独創性</li> </ol>					